

# やすらぎだより

10  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

コラム第124号

## 「 監査の一日 」

施設長 植田 誠



「いやぁ、何か空気が違いますね」

開口一番、挨拶と同時にやりとりするこの風景には別段驚きもしない。それ程、ここ福住の地に初めて下車される多くの方にとって、緑色豊かで澄み切った空気感が心地良いと驚嘆されることは想像に難くない。

9月29日、秋晴れのその日奈良県及び天理市の実地指導監査があった。そもそも我々社会福祉法人や施設に対する監査は、大きく二種類ある。法人監事による内部監査と行政機関による指導監査、現在は必須ではないが専門職による外部監査を受けているところもある。

監査という存在には、比較的これまで好意的だったように記憶する。その言葉のイメージほど、実際は杓子定規でもなく独善的とも感じない。一昔も二昔も前は、運営改善するための最も手っ取り早い方法として‘利用’していた時期もあった。‘絶対’とも言える監査の指摘事項は、質を高める格好の機会と素直に感じ得ていた。

私どもが受ける行政の実地監査は何回目だろう。十数回、否、二十回に届いているかもしれない。さすがに、今は利用こそしてはいないが構えてもいない。何事も場数を踏めば精度が増して当たり前、一度受けた指摘には当然だが即応し改善しているつもりだ。散漫ではなく変な余裕も感じながら8名の監査のプロと対峙、ではなく対面した。

数時間の聞き取りに対応する私達のスタッフは、テキパキと答えていた。多少の戸惑いを見せながらも程なく時は過ぎ去り、やがて中秋の夕日が差し始めた会議室は暖かみのある空気に包まれながら、幾つかの指摘を教示してもらう講評の時間は過ぎ終えた。

「夕刻の空気もどことなしか違いますね」

一仕事を終えた互いの充足感とオレンジ色の夕日に包まれながら、8名のプロは福住の地をあとにした。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- |  |  |
|--|--|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園                               | ○ケアハウス やすらぎ  |
| ○在宅サービス事業所<br>居宅介護支援事業所<br>訪問介護事業<br>訪問入浴介護事業  | ○介護予防関連事業<br>○グループホーム むつみあい<br>○天理市ひとり暮らし<br>高齢者世帯等見守り事業 |
| ○短期入所生活介護事業<br>○在宅介護支援センター<br>○天理市東部地域包括支援センター | ○低所得高齢者等住まい・<br>生活支援モデル事業                                |